

科目	普通科目	現代の国語	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	佐々野 美帆		最低視聴時間	2.0時間		
教科書	新編現代の国語		副教材	新編現代の国語 学習課題ノート		

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

高校の国語の授業ってどんなイメージでしょうか。
2022年に新しく始まった科目であるこの「現代の国語」は、これまでのようなただ現代の文章を読むのではなく、1年間を通して自己を見つめたり、他者を知ったり、視野を広げたり…そんなふうに少しずつ世界に目を向けていくような作品が選ばれています。本校が目指す『他者を思いやる「想像力」と新たな価値を生み出す「創造力」で社会に役立つ人間の育成』のスタート地点として、とても大切な科目だと思っています。あなたがあなたらしく、作品を見つめることができますように。言葉や文章に苦手意識のある人も安心してくださいね。楽しく学び合える授業を心がけます。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ・自分の考え方や感情を持って作品に向き合うことができる。
- ・筆者の意見や筆者の体験に対して自分の意見を持つことができる。

○学習計画

第1クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(4/14~5/23) 「こそそめスープ」 随想を知る 随想を読み自由に考える 漢字・意味調べ・本文の内容理解・自由に感想を書く
第2クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(5/26~6/27) 「水の東西」 評論を知る 評論から自分の意見をつくる 漢字・意味調べ・本文の内容理解・自分の考えを書く
第3クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(6/30~8/1) 「鍋洗いの日々」 随想から他者の経験を学ぶ 他者の経験をふまえて感想を書く 漢字・意味調べ・本文の内容理解・他者の経験をとおした感想を書く
第4クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(9/29~10/31) 「美しさの発見」 評論を読み味わう 印象に残ったところを探す 漢字・意味調べ・本文の内容理解・印象に残った箇所についてその理由を書く
第5クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(11/3~12/5) 「真の自立とは」 評論を読解する 評論からメッセージを抽出する 漢字・意味調べ・本文の内容理解・作者の意見に対する自分の意見を書く
第6クール じぶみらビデオ じぶみらライブ じぶみらレポート	(12/8~1/16) 「ルリボシカミキリの青」 随想を味わう 随想からメッセージを抽出する 漢字・意味調べ・本文の内容理解・メッセージを受け取り自分と向き合う

○スクーリング	
前期	「同じ作品を読んでも感じ方が違う」という経験をしよう
後期	授業なし ※転入生は後期に授業があります
○テスト	
前期(9/8~9/10)	第1～第3クールの範囲から出題。30点以上で合格。
後期(1/26~1/29)	第4～第6クールの範囲から出題。30点以上で合格。

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
レポートに沿った内容を丁寧に説明していきます。前半では、問題の解き方や学習の仕方にも触れながら、ゆっくり学習を進めていきます。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
その時期に必要なこと（締め切りなど）を確認しつつ、作品にあったテーマについて、自分の意見を伝える、仲間の意見を聴く時間を丁寧に重ねていきます。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
同じ作品を読んでも、読むタイミングによっても、読む人によっても感想が変わるでしょう。違った人の違った思いや考えに触れて、また新たな考えを持てる、そんな経験をしてみましょう。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
NHK高校講座は、教科書をより広く捉えて作品だけでなく国語全体に関わる授業を実施しています。 東京書籍インターネット講座は、教科書をじっくりゆっくり説明しています。今年度扱う6つの作品について、またそれ以外の作品について、しっかり学びたいときに役立ちます。	
⑤じぶみらレポート	(前期〇回、後期〇回提出します。)
レポートでは1作品ずつ扱います。まずはビデオ授業とライブ授業を受けましょう。そのほうが取り組みやすいはずです。	
⑥テスト	(前期1回、後期1回実施します。)
前期は1～3回のレポート、後期は4～6回のレポートが試験の学習範囲です。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。 ①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	歴史総合	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	水田 淳一		最低視聴時間	2.0時間		
教科書	歴史総合		副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

歴史総合は、日本のことだけ・世界のことだけと別々に学習するものではありません。地球上の様々な国の中で、当時の日本がどのように行動したか。そしてその日本の行動が世界にどのような影響を与えたか。逆に世界中の出来事が日本にいったいどのような影響を及ぼしたかを知る教科です。そして、地球上で起こっている様々な出来事を一つのストーリーとして物語のように知り、なぜそうなったかを考えていくことも大事です。そのなかで、なぜその時歴史が動いたのか。あなたの考え方をもち、学習を深めていきましょう。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

歴史総合は暗記するだけが大切ではありません。歴史の学びを現代的な諸課題の解決に結び付けていくことが重要です。歴史は現在と時間につながります。過去の歴史上の出来事が、今現在の私たちの生活に大きく結びついていることを理解し、歴史は現在へつながる物語として理解していきます。その中で、世界と日本のかかわりを理解し、現在の自分の周りにある身近な課題を解決していくような能力の獲得を目指します。

○学習計画

第1クール	(4/14~5/23)	教科書 p 16 ~ 19
じぶみらビデオ	中学校での学習を振り返ろう	
じぶみらライブ	日本の歴史を振り返ろう	
じぶみらレポート	中学校での学習を振り返ろう	
第2クール	(5/26~6/27)	教科書 p 20 ~ 69
じぶみらビデオ	近代化と私たち～幕末からの日本と世界～	
じぶみらライブ	なぜ日本は世界と戦うことになったのかを知ろう	
じぶみらレポート	近代化と私たち～幕末からの日本と世界～	
第3クール	(6/30~8/1)	教科書 p 70 ~ 121
じぶみらビデオ	第一次世界大戦	
じぶみらライブ	第一次世界大戦と大衆社会	
じぶみらレポート	第一次世界大戦	
第4クール	(9/29~10/31)	教科書 p 122 ~ 131
じぶみらビデオ	第二次世界大戦	
じぶみらライブ	第二次世界大戦が残したもの	
じぶみらレポート	第二次世界大戦	
第5クール	(11/3~12/5)	教科書 p 132 ~ 163
じぶみらビデオ	戦後の国際秩序	
じぶみらライブ	冷戦の拡大と世界情勢	
じぶみらレポート	戦後の国際秩序	
第6クール	(12/8~1/16)	教科書 p 164 ~ 195
じぶみらビデオ	近代のグローバル化	
じぶみらライブ	世界秩序の変容と日本	
じぶみらレポート	近代のグローバル化	

○スクーリング	
前期	なし
後期	現代的な諸課題を知ろう
○テスト	
前期(9/8~9/10)	第1～第3クールの範囲から出題。30点以上で合格。
後期(1/26~1/29)	第4～第6クールの範囲から出題。30点以上で合格。

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
・中学校で学ぶ範囲をもう一度振り返ります。中学校の範囲をもう一度学びなおすことで、歴史総合で学ぶ出来事との関係性が理解できスムーズに内容の理解につなげることができます。そして、歴史総合の内容をストーリーとして流れを確認していきましょう	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
・じぶみらビデオで学んだ内容を振り返りつつ、捕捉しなければならない内容をわかるように説明していきます。そのなかで「なぜ歴史が動いたのか?」「歴史の対象者はどのように行動するべきだったのか?」を考えていきましょう	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
・世界の課題・日本の課題を知り、みんなでどうすれば課題を克服できるようになるのかを考えていきましょう	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
・歴史総合は大きく考えると約7000年分の内容を学ぶ必要があります。決められている授業の回数ではすべてを学びきることはできませんので、あなたのペースで、もしくはあなたの興味がある範囲をNHK高校講座、教科書インターネット講座を活用して学んでいきましょう	
⑤じぶみらレポート	(前期3回、後期3回提出します。)
・レポートは、前半の70点分を教科書の重要単語（太字）をもとに作っています。そのため教科書の太文字で書かれている単語の意味をしっかりと理解してください。後半30点分は教科書・じぶみらビデオ・じぶみらライブの内容から、出されている問い合わせに対して文章で解答してもらう内容です。	
⑥テスト	(前期1回、後期1回実施します。)
・レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストが実施されます。合格点は40点です。 重要単語などの知識・技能を問う問題が70点、文章題など思考力・判断力を問う問題が30点の配分で出題されます。勉強の成果を十分に発揮して、合格を目指しましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。 ①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	地理総合	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	久保寺 鉄平		最低視聴時間	2.0時間		
教科書	地理総合		副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

私たちの社会は多様な文化的背景を持つ人々と共に進化しており、インターネットや航空機の発展により世界はより身近になりました。しかし、世界各地での戦争や紛争も存在します。このような状況下で、争いを減らし持続可能な世界を創造するためには、「異文化理解・多文化共生」が必要です。この授業では、異なる文化をしっかりと理解し、相手に共感する想像力を身につけ、ともに社会をつくっていく視点を養うことを目指しています。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ①自分たちとは異なる生活習慣はなぜ生まれたのかを考察する。
- ②それぞれの自然環境が文化の形成に大きく影響してきたことについて資料や画像、文章から収集し、必要な情報を取り出し効果的にまとめる。
- ③異なる文化から発生する問題を把握し、その解決に向けて自分たち一人ひとりに何ができるのかを想像する。
- ④地理科目は異なる文化背景を持つ相手と相互理解をするためにとても重要な科目です。授業やレポートで学習したことを手掛かりに、なぜ自分たちとは違うのか、それらの諸地域はどのような課題を抱えているのか、他者のそれぞれ異なる背景をイメージする習慣をつけてください。振り返り授業ではテストに向けた内容確認を実施する予定です。

○学習計画

第1クール	(4/14~5/23)	教科書p8~p17
じぶみらビデオ	地図に触れてみよう（グーグルアースとグーグルマップ）	
じぶみらライブ	グーグルアースとグーグルマップで世界を旅しよう	
じぶみらレポート	緯度と経度、時差、地球儀と世界地図、日本の位置と領域	
第2クール	(5/26~6/27)	教科書p58~p59・P62~P63・P150~P153
じぶみらビデオ	人種って？民族って？世界的な問題は？	
じぶみらライブ	共通言語の文化と我々意識	
じぶみらレポート	民族・人種・民族難民問題について	
第3クール	(6/30~8/1)	教科書p60~p61・P93
じぶみらビデオ	多様な宗教（宗教とは、世界宗教、民族宗教、一神教、多神教）	
じぶみらライブ	宗教と生活習慣を考える（文化としての宗教的な暮らし）	
じぶみらレポート	宗教とは、世界宗教と民族宗教、文化としての宗教	
第4クール	(9/29~10/31)	
じぶみらビデオ	世界の食文化（主食と代表料理）	
じぶみらライブ	世界の食文化とファーストフードのメニュー	
じぶみらレポート	世界の食文化（主食と代表料理）	
第5クール	(11/3~12/5)	
じぶみらビデオ	世界の衣服と住まい（民族衣装、建築）	
じぶみらライブ	地理的要件と衣服の関係性	
じぶみらレポート	世界の衣服と住まい（民族衣装、建築）	
第6クール	(12/8~1/16)	
じぶみらビデオ	地球的課題への取り組みと国際協力	
じぶみらライブ	国境を超える地球的課題	
じぶみらレポート	地球的課題への取り組みと国際協力	

○スクーリング	
前期	妄想卒業海外旅行プランニング
後期	なし
○テスト	
前期(9/8~9/10)	第1クールから第3クールで学んだことが出題されます。知識問題、論述問題及び地図問題の構成になります。
後期(1/26~1/29)	第4クールから第6クールで学んだことが出題されます。知識問題、論述問題及び地図問題の構成になります。

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
地理総合では、指定の教科書の中から特に国際理解と異文化理解を中心に取り扱います。それぞれの文化の違いとそれらを乗り越えて協力すべき地球的課題を解説します。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
ライブ授業では「なぜ？」を中心に取り組みます。オリジナル授業の内容に関連した「なぜ？」をみんなで一緒に考えましょう。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
スクーリング授業ではみんなで相談しながらの作成と発表を中心に行います。みんながそれぞれ卒業旅行をイメージした海外旅行プランニングを考え発表してもらいます。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
地理総合のNHK高校講座では、地理総合全般が網羅されています。視聴時間も1本20分程で飽きずに見ることができますので、地理総合全体の知識を吸収するのには最適な動画となっています。また、東京書籍インターネット講座では教科書をくまなく網羅しているので知識を深めたいときに最適です。	
⑤じぶみらレポート	(前期3回、後期3回提出します。)
レポート内容に関しては教科書とオリジナル授業との関連性が高いものとなっています。また、皆さんがそれぞれ調べることもできる内容になっていますので、焦らず確実に期限を守って提出してください。	
⑥テスト	(前期1回、後期1回実施します。)
前期、後期に一回ずつ実施します。原則テストは、それまでのレポート及び教科書で学べる内容となります。ただし、地理総合の基本として、日本地図及び世界地図は、授業動画との関連なく出題します。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。 ①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	数学 I	単位数	3単位	区分	必修科目
教科担当者	野中 孝利		最低視聴時間	2.0時間		
教科書	新数学 I		副教材	ニューファースト新数学 I		

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

数学 I では、日常生活や社会で役立つ数学の基礎を学びます。数や式の扱い方、図形の性質や美しさ、データの分析などを通じて、実際の問題を解決する力を身につけます。数学を学ぶことで、論理的思考力や問題解決能力が鍛えられ、日常のさまざまな場面で活かせる力が養われます。

さらに、数学に取り組む中で、課題に粘り強く向き合う力が育まれ、自分の成長を実感できるでしょう。数学の知識や技能は、将来の進路や仕事にも大いに役立ちます。一緒に楽しく学びながら、新しい発見や達成感を味わい、自分の可能性を広げていきましょう。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析の基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈・表現・処理する技能などを身に付ける。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見て適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係を表、式、グラフで関連付けて考察する力、データの分析を通じて問題を解決し、その過程や結果を批判的に考察する力などを養う。
- (3) 数学のよさを認識し活用しようとする態度を身につける。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)

じぶみらビデオ ① 第1章 1節 文字と式

じぶみらライブ ①かけ算の筆算から乗法公式を考えよう。

じぶみらレポート ① 第1章 1節 文字と式

第2クール (5/26~6/27)

じぶみらビデオ ② 第1章 2節 実数
③ 第1章 3節 方程式と不等式

じぶみらライブ ② $0.999999\dots = 1$ になる?
③ 2次方程式を使って花だんをつくろう。

じぶみらレポート ② 第1章 2節 実数
③ 第1章 3節 方程式と不等式

第3クール (6/30~8/1)

じぶみらビデオ ④ 第2章 1節 2次関数とそのグラフ
⑤ 第2章 2節 2次関数の値の変化

じぶみらライブ ④ 2次関数のグラフをいろいろかいてみよう。
⑤ 売り上げを最大にするには?

じぶみらレポート ④ 第2章 1節 2次関数とそのグラフ
⑤ 第2章 2節 2次関数の値の変化

第4クール (9/29~10/31)

じぶみらビデオ ⑥ 第3章 1節 鋭角の三角比

じぶみらライブ ⑥ 三角比を利用して、いろいろな長さを調べよう。

じぶみらレポート ⑥ 第3章 1節 鋭角の三角比

第5クール (11/3~12/5)

じぶみらビデオ ⑦ 第3章 2節 三角比の応用
⑧ 第4章 1節 データの分析

じぶみらライブ ⑦ いろいろな三角形の面積を求めよう。
⑧ そのデータから言えることは正しい?

じぶみらレポート ⑦ 第3章 2節 三角比の応用
⑧ 第4章 1節 データの分析

第6クール (12/8~1/16)

じぶみらビデオ ⑨ 第5章 1節 集合と論証

じぶみらライブ ⑨ 正しくないことを証明しよう。

じぶみらレポート ⑨ 第5章 1節 集合と論証

○スクーリング	
前期	一筆書きの秘密をみつけよう
後期	多面体の秘密をみつけよう
○テスト	
前期(9/8~9/10)	第1～3クールの範囲（第1・2章）から出題。
後期(1/26~1/29)	第1～6クールの範囲(第1～5章)から出題。

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> 各単元の基本的な考え方について、小・中学校での学びの経験をもとに、できるだけやさしくわかりやすく説明します。範囲が多くすべてを説明しきれないため、自分で教科書の問題や問題集（ニューファースト）に取り組んだり、NHK高校講座、東京書籍インターネット講座を視聴したりして、理解を深めることができます。 	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎の復習に加えて、トピックを取り上げ、数学の楽しさが伝えられるようなライブ授業をお届けします。各単元の学習内容をある程度理解した上で参加するのが望ましいですが、視聴していなくても参加できるような内容にしていきますので、ぜひみなさんで楽しく学びましょう。 	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> ライブ授業同様、トピックを取り上げ、数学の楽しさが伝えられるような授業をお届けします。さらに、せっかくの対面なので、みんなで話し合い考えることのよさを味わうような内容にしていきます。楽しみにしていてくださいね。 	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
<ul style="list-style-type: none"> 数学科で学習する範囲は広く、知識を積み重ねていく特性が強いため、オリジナル授業では十分内容を説明しきることができません。教科書や問題集でわからない部分があれば、オリジナル授業とともに、NHK高校講座や東京書籍インターネット講座を視聴して、自分のペースに合わせた勉強法を見つけましょう。 	
⑤じぶみらレポート	(前期5回、後期4回提出します。)
<ul style="list-style-type: none"> レポートは、前半の70点分は教科書の練習問題をもとに作っていますので、似たような問題を教科書や問題集から見つけて、解き方を身に着けてからチャレンジしてください。後半30点分も教科書の練習問題をもとにしていますが途中式や考え方を問う問題です。解き方を参考にして、粘り強く取り組みましょう。 	
⑥テスト	(前期1回、後期1回行います。)
<ul style="list-style-type: none"> レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストが実施されます。 計算問題など知識・技能を問う問題が70点、文章題など思考力・判断力を問う問題が30点の配分で出題されます。これまでの 勉強の成果を十分に発揮して、合格できるようにがんばりましょう。 	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	科学と人間生活	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	中谷 杏兵		最低視聴時間	6.0時間		
教科書	科学と人間生活		副教材	ニューサポート		

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

人類は太古の時代から自然と共に生きてきました。時に自然の恩恵を受けながら、時に人類の力が及ばない自然現象にさらされながら生きてきたのです。短く見積もっても20万年といわれる人類（ホモ・サピエンス）が生み出した科学の叡智は、人類文明（人間生活）を比類なきものにまで進歩させてきました。科学と人間生活では、その中でも現代社会を生きていく上で共通理解として知っておくべき知識がまとめられています。さらに、それを学ぶことを通して、物事を科学的に考える見方や考え方を学ぶこともできるでしょう。人類が自然に対する知識や理解を深め自然の仕組みを解明し利用してきたことを学びながら、日常生活を科学の視点から共に学んでいきましょう。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活や社会に与えた影響と、それらが果たしてきた役割について学び、興味を持った分野に関して掘り下げて学ぶ経験を通して、自らの意思で学習を継続し、新たな課題に取り組む姿勢を身につける。ものごとを科学的な見方で捉えることや、ものごとに対して科学的な考察ができるようになることを目指し、身につけた知識・技能や自身の経験を活用して、課題に対して取り組む能力を身につける。学習の過程で、新たな知識を獲得することの喜びや学習の手法を学びながら、社会で生きていく上で必要となる、他者と協働するための共通言語としての知識・技能を身につける。

○学習計画

第1クール	(4/14~5/23)
じぶみらビデオ	「知恵のあるヒト」の科学の歴史/微生物とその利用
じぶみらライブ	生物の「ミクロ」な世界
じぶみらレポート	科学技術の発展・微生物とその利用
第2クール	(5/26~6/27)
じぶみらビデオ	はたらく細胞 と はたらくタンパク質
じぶみらライブ	「見えるということ」～人間は脳の解釈から逃れられない～
じぶみらレポート	ヒトの生命現象
第3クール	(6/30~8/1)
じぶみらビデオ	金属マテリアルとプラスチック
じぶみらライブ	衣料と食品
じぶみらレポート	物質の科学
第4クール	(9/29~10/31)
じぶみらビデオ	光の正体は 波か？粒子か？
じぶみらライブ	熱とエネルギー
じぶみらレポート	光や熱の科学
第5クール	(11/3~12/5)
じぶみらビデオ	一地球の運動について一
じぶみらライブ	E=mc ² が生み出す太陽のエネルギー と 太陽がつくる大気と海洋の循環
じぶみらレポート	太陽と地球
第6クール	(12/8~1/16)
じぶみらビデオ	ウェグナーの大陸移動説 と 身近な自然景観の成り立ち
じぶみらライブ	研究をしてみよう（調べて・まとめて・発表する）
じぶみらレポート	自然景観と自然災害・課題研究

○スクーリング	
前期	DNAの抽出、現代の鍊金術師
後期	日時計の作成、レーザー魔法陣
○テスト	
前期(9/8~9/10)	第1～第3クールの範囲から出題。30点以上で合格。
後期(1/26~1/29)	第4～第6クールの範囲から出題。30点以上で合格。

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
<p>・各単元の基本的な内容を押さえつつ、その内容を授業者ならではの切り口で解説した授業を目指します。 内容をできるだけ物語に落とし込むことを意識して、楽しんで聞いてもらえるような授業にしていきたいです。 レポートとの対応も意識して作成しているので、視聴後にレポートに取り組んでもらえると学習が捲ると思います。</p>	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
<p>・各単元の内容の中から、授業者が特に紹介したいと思う内容について深掘りする授業です。ライブ授業という特性を活かした、「双方向」の授業になるように工夫していきます。聞いているだけの授業ではなく、生徒が参加者の一員として、一緒に授業を作っていくような感覚で取り組んでいきたいです。</p>	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
<p>・「科学に開かれ、世界を存分に享受できる身体の獲得」を目指して、実験や体験を中心とした授業を行います。 科学の不思議を五感を使って感じ取り、世界の「理」に触れる体験をして欲しいです。そして、その理を自分の言葉で他者に説明できるようになることを目指して、グループワークなどにも挑戦してみましょう。</p>	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
<p>・NHK高校講座や教科書インターネット講座では、科学と人間生活で学ぶべき内容を網羅的に解説してくれています。 通して観ることで全体像を掴みながら体系的に学ぶことができるでしょう。また、じぶみらレポートにも対応する動画教材が示されています。参考にしてみてください。</p>	
⑤じぶみらレポート	(前期3回、後期3回提出します。)
<p>・レポートは、70点分は知識・技能の問題で教科書を参考に取り組んでもらえればできると思います。 30点分は記述問題や実験結果の考察などの問題です。記述問題などの自分の意見を書く問題では、正解・不正解よりも論理的に自分の意見が述べられているかを重視します。</p>	
⑥テスト	(前期1回、後期1回実施します。)
<p>・レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストが実施されます。合格点は30点です。 知識・技能を問う問題が70点、記述問題や実験結果の考察など思考力・判断力を問う問題が30点の配分で出題されます。これまでの 勉強の成果を十分に発揮して、合格できるようにがんばりましょう。</p>	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	体育 I	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	高木 拓自		最低視聴時間	7.2時間		
教科書	新高等保健体育		副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

じぶんみらい科の体育は、『健康の保持増進』のための運動を中心に行います。体育には、集団行動や訓練などの意味合いもありますが、皆さんにとって必要なのは、生涯に渡って運動に親しむことで自分の心身の健康を自分で創り出すことであると考えています。

体育が得意な人、苦手な人、好きな人、嫌いな人、それぞれだと思いますが、全ての人が健康で前向きな生活が送れるように自分のペースで運動に親しむ姿勢を身に付けることをめざして授業を実施していきます。
自分のできる範囲で、でも、チャレンジすることを忘れずに頑張りましょう。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- (1) 適切な運動習慣を身に付け、自己の健康作りを意識することができる。
- (2) 日常生活の動作の中で、刺激する部分を意識することで運動習慣を身に付けることができるることを知る。
- (3) 身体を動かす心地よさや楽しさを味わうことができる。
- (4) 心と身体はお互いに影響しあい、変化していることに気付き、自分の体調の応じて適切な運動を選択することができる。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)

じぶみらビデオ	『身体つくり運動Ⅰ』 自宅で行うことができる運動の紹介と実践
---------	--------------------------------

じぶみらライブ	『身体つくり運動Ⅱ』 運動の種類とそれぞれの運動の効果について
---------	---------------------------------

じぶみらレポート	『身体つくり運動Ⅰ』 運動の実践とそれぞれの運動の効果について
----------	---------------------------------

第2クール (5/26~6/27)

じぶみらビデオ	『球技Ⅰ』 サッカーの練習方法と基本的技術について
---------	---------------------------

じぶみらライブ	なし
---------	----

じぶみらレポート	なし
----------	----

第3クール (6/30~8/1)

じぶみらビデオ	『身体つくり運動Ⅲ』 自律神経を整える運動の紹介と実践
---------	-----------------------------

じぶみらライブ	なし
---------	----

じぶみらレポート	なし
----------	----

第4クール (9/29~10/31)

じぶみらビデオ	『球技Ⅱ』 テニス・ソフトテニスの練習方法と基本的技術について
---------	---------------------------------

じぶみらライブ	『体育理論Ⅰ』 スポーツの発祥と文化的変容について
---------	---------------------------

じぶみらレポート	『スポーツの発祥と文化的変容について』
----------	---------------------

第5クール (11/3~12/5)

じぶみらビデオ	『マット運動Ⅰ』 自宅で行うことができる器械運動の紹介と実践
---------	--------------------------------

じぶみらライブ	なし
---------	----

じぶみらレポート	なし
----------	----

第6クール (12/8~1/16)

じぶみらビデオ	『体育理論Ⅱ』 日本・世界のさまざまなスポーツを知る
---------	----------------------------

じぶみらライブ	なし
---------	----

じぶみらレポート	なし
----------	----

○スクーリング	
前期	・身体つくり運動・けが予防のストレッチ ・レクリエーションスポーツの実践
後期	・球技 『サッカーの基本動作』 ・球技 『バスケットボールの基本動作』
○テスト	
前期(9/8~9/10)	なし
後期(1/26~1/29)	第1クールから第6クールまでの範囲から出題

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
・授業動画を見て、あなた自身の生活の中に運動習慣を取り入れてもらうための内容となっています。 ・日本社会で健康上の課題となっている疾病の予防、改善に役立てる。 ・心と身体の健康につながる運動を知り、自己の健康に関心を持つてもらうことを目指しています。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
・動きやすい服装で、Google Classroom「体育Ⅰ」Meetに入室して、オンラインで一緒に運動しましょう。ライブ授業に参加できなかった場合もアーカイブを残しているので後からでも確認できます。 ・室内で行える心と身体の健康に役立つ運動を紹介します。 ・得意、不得意に関係なく実施できる運動になっています。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
・仲間と身体を動かす楽しさを味わいましょう。「できる」、「できない」やタイム測定など記録を求める事はありません。参加すること、チャレンジすることを重視しています。 ・運動できる服装を準備しましょう(指定なし) 室内用シューズを準備しましょう(指定なし)	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
・視聴報告書を提出することで、スクーリング減免に必要なメディア視聴時間として活用することができます。 ・スクーリング減免に必要なメディア視聴時間は、じぶみらビデオとじぶみらライブに参加することで満たされます。しかし、全ての種目を実施することはできないので、自分の興味関心に応じて活用して下さい。	
⑤じぶみらレポート	(前期1回、後期1回提出します。)
・第1回(前期) : 『身体つくり運動Ⅰ』 運動の実践とそれぞれの運動の効果について ・第2回(後期) : 『スポーツの発祥と文化的変容について』 それぞれ、じぶみらビデオ、じぶみらライブの内容を参考にして提出して下さい。	
⑥テスト	(後期1回実施します。)
・レポートで取り組んだ問題をもとに単位認定テストを実施します。合格点は〇点です。 ・体育理論など知識・技能を問う問題が70点、自己の生活習慣をより良くする思考・判断を問う問題が30点の配分で出題されます。これまでの学習の成果を發揮できるようにしましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。(合格点は40点以上)
【テスト】	受験し、合格すること。(合格点は30点以上)
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	保健 I	単位数	1単位	区分	必修科目
教科担当者	高木 拓自		最低視聴時間	-		
教科書	新高等保健体育		副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

保健は、答えが決まっていることを学ぶ教科ではありません。「健康」をキーワードにして様々な視点から、現代社会にある課題を知り、その解決方法を考える教科です。じぶんみらい科の目標である、『身近な社会課題を発見し、その解決方法を考える』ことにピッタリな教科でもあります。

まずは自分の心と身体を大切にすること。そのうえで自分だけでなく自分の周囲の人、自分の住んでいる国や地域、世界の人々のことも大切に考える姿勢を持てるようになることが保健という教科を学ぶ意義だと考えています。様々な健康上の課題について、一緒に問題意識を持って学んでいきましょう。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ・現代社会における健康に関する現状と課題を、様々な視点から知る。
- ・日本の健康に関する取り組みの現状と課題、他国との比較を通して今ある「当たり前」を問い合わせ姿勢を持つ
- ・自分の生活習慣が自分の心と身体を作っていることを知り、心身共に健康な生活を送るためにどうすればよいのかを考えることができる。
- ・自身の心身の健康を保つ姿勢を持つことを意識するとともに、身近な人々と共に健康に暮していくためにはどのような姿勢を持つべきか、考えることができるようになる。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)	
じぶんみらいビデオ	第1章 単元1 『日本における健康問題の変遷』
じぶんみらいライブ	第1章 単元2 『健康の考え方と成り立ち』
じぶんみらいレポート	「日本が世界有数の長寿国になった要因と現在の日本における健康課題」
第2クール (5/26~6/27)	
じぶんみらいビデオ	なし
じぶんみらいライブ	なし
じぶんみらいレポート	なし
第3クール (6/30~8/1)	
じぶんみらいビデオ	なし
じぶんみらいライブ	なし
じぶんみらいレポート	なし
第4クール (9/29~10/31)	
じぶんみらいビデオ	第1章 単元5 『現代における感染症の問題』
じぶんみらいライブ	第1章 単元7 『性感染症・エイズの現状とその予防』
じぶんみらいレポート	「感染症の現状と予防、性感染症・エイズの現状とその予防について」
第5クール (11/3~12/5)	
じぶんみらいビデオ	第1章 単元8 『生活習慣病の予防と回復』
じぶんみらいライブ	第1章 単元9 『身体活動・運動と健康』
じぶんみらいレポート	「生活習慣病の予防と回復について」
第6クール (12/8~1/16)	
じぶんみらいビデオ	なし
じぶんみらいライブ	なし
じぶんみらいレポート	なし

○スクーリング	
前期	第1章 単元1 3・14 『喫煙と健康』・『飲酒と健康』
後期	なし
○テスト	
前期(9/8~9/10)	なし
後期(1/26~1/29)	第1・4・5クールのレポート内容から出題

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
・健康に関して、みなさんの身近にある問題を取り上げた内容になっています。 ・知識を学ぶだけではなく、実際に生活に活用できるようにしましょう。 ・食事や睡眠など、自分自身の心身の健康に興味関心を持ち、健康的な生活を実践できるようになります。 (視聴報告書を提出することによりスクーリング減免に必要なメディア視聴時間として認定されます。)	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
・Google classroom『保健』に入室し、仲間とともに学びましょう。ライブ授業に参加できなかった場合はアーカイブを残していますので後からでも確認できます。 ・日本における健康上の課題について、考える内容になっています。 (視聴報告書を提出することによりスクーリング減免に必要なメディア視聴時間として認定されます。)	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
・前期のみの実施となります。単位認定には参加が必須となっています。 ・健康に関する様々な課題について、お互いに意見交換をしながら理解しあいましょう。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
・オリジナル授業、ライブ授業、スクーリング授業だけでは扱うことができない単元や、それぞれの関心に応じて各メディア講座を活用して下さい。 ・視聴報告書を提出することにより、スクーリング減免に必要なメディア視聴時間を認定することができます。	
⑤じぶみらレポート	(前期1回、後期2回提出します。)
・第1回(前期) : 『日本が世界有数の長寿国になった要因について』 ・第2回(後期) : 『現在の日本における、健康面での課題について』 ・第3回(後期) : 『生活習慣病の要因と予防方法について』 それぞれ、じぶみらビデオを参考に作成し、期日までに提出しましょう。	
⑥テスト	(後期1回実施します。)
・レポートで取り組んだ問題をもとに単位認定テストを実施します。合格点は〇点です。 ・保健に関する基本的な用語など知識・技能を問う問題が70点、自己の生活をより良くする思考・判断を問う問題が30点の配分で出題されます。これまでの学習の成果を発揮できるようにしましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数(上記)の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。(合格点は40点以上)
【テスト】	受験し、合格すること。(合格点は30点以上)
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	美術 I	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	巽 紫文・香西 里紗		最低視聴時間	6.0時間		
教科書	高校生の美術 1		副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

美術は「美しくする術」と書きますが、美しくすることだけがゴールではありません。学園の理念である、他者を思いやる「想像力」と新たな価値を生み出す「創造力」を身に着けることに正面から向き合う科目です。個々のオリジナリティを最大限に尊重すること、他人と違う事を歓迎します。また、美術は創造科目と探究科目と密接なつながりを持つ科目です。すべての科目の表現を支え、自分の意見や考えをより伝わる形にして届ける役割も持っています。つまり、表現の上手・下手を気にすることなく自己表現の引き出しを増やすことを大切に授業を構成しています。ぜひ楽しみに参加してください！

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ①美術の基本的な技術と知識を学び、自己表現の引き出しを増やす。
- ②アートの考え方を通じて、自分の意見（ものの見方）を持ち、色や言葉などをつかって表現する。
- ③デザインの考え方を通じて、他者への想像力を持ち、色や言葉などをつかって表現する。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)	
じぶみらビデオ	アートとは？
じぶみらライブ	対話型鑑賞
じぶみらレポート	色の世界
第2クール (5/26~6/27)	
じぶみらビデオ	デッサン
じぶみらライブ	デッサン
じぶみらレポート	デッサン（自分の眼）
第3クール (6/30~8/1)	
じぶみらビデオ	スケッチ
じぶみらライブ	スケッチ
じぶみらレポート	スケッチ（私専用のかばん）
第4クール (9/29~10/31)	
じぶみらビデオ	さまざまな平面表現
じぶみらライブ	さまざまな平面表現
じぶみらレポート	さまざまな平面表現
第5クール (11/3~12/5)	
じぶみらビデオ	デザイン
じぶみらライブ	デザイン
じぶみらレポート	デザイン
第6クール (12/8~1/16)	
じぶみらビデオ	映像表現
じぶみらライブ	映像表現
じぶみらレポート	映像表現

○スクーリング	
前期	色の世界
後期	デザイン表現
○テスト	
前期(9/8~9/10)	なし
後期(1/26~1/29)	色と表現

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
美術Ⅰではたのしんで取り組んでもらうためにオリジナル授業を制作しています。美術の範囲はとても広いため、特にみんなに知ってほしい範囲を学習内容として選んでいます。また、NHK高校講座は現在活躍しているアーティスト、キュレーター（学芸員）の話が聞けるので、あわせて見ていくことをおすすめします。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
じぶみらビデオの内容の復習や、レポートの解説も含むこともある内容です。みんなといっしょに1時間で1作品に取り組みますが、その時間に完成しなくてもOK！じっくり取り組んでもらえる授業にしています。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
みんなで話し合ったり、お互いの作品を見合ったり、直接会っているからこそ取り組める内容にしています。安心な環境でこそみんなの力が發揮できると思いますので、お互いにその環境を作りましょう。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
美術ⅠのNHK高校講座は20分×20本あります。担当者である私たちも、とても勉強になった内容でした。教科書では扱われていないアーティストも多く登場しますし、何より今活躍中のアーティストの話が聞けるのはとても貴重です。自分の興味の幅を広げるきっかけとして見てみてください。	
⑤じぶみらレポート	(前期3回、後期3回提出します。)
じぶみらビデオの内容と連動していますので、取り組み方がわからない場合はじぶみらビデオを見直しましょう。評価ポイントを表で示していますので、その内容を確認してから取り組んでみてください。制作と同じくらい「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。「どのように工夫したか」などの問い合わせにも丁寧に答えるようにしてください。	
⑥テスト	(後期1回実施します。)
レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストを作成しています。レポートと同様「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。これまでの学習の成果を十分に発揮して、合格できるようにがんばりましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。 ①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3単位	区分	必修科目
教科担当者	馬場 千恵子		最低視聴時間	10.5時間		
教科書	All Aboard! English Communication I		副教材	WORKBOOK I		

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

道に迷っているであろう外国人観光客の方を見かけたとき、あなたならどうしますか？もしも英語に自信がなくても、声をかけることをためらう必要はありません。なぜなら、心細いときに誰かに手を差し伸べてもらったという出来事は、相手にとって心温まる思い出になるからです。皆さんには、ほんの少しの勇気を出して、人の心を温めることができる人であってほしいと思います。そのための「手段」として英語を使ってみてください。そして、英語を通して、今よりさらに広い視野と将来の選択肢を手にしてください。そのために、授業ではたくさん間違えて練習してくださいね。大丈夫、英語は「分かれば楽しい」！シンプルです！

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ・コミュニケーションの手段としての英語を、間違えを恐れずに使うことに挑戦する。
- ・聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くことのそれぞれの領域別に設定する目標の実現を目指し、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成する。
- ・学習の過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」および「他者を理解しようとする態度」「自分を表現しようとする態度」を育成する。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)	
じぶみらビデオ	①Pre-L1 be動詞／Pre-L2 一般動詞
じぶみらライブ	①やはり最初なので自己紹介をしてみましょう
じぶみらレポート	①Warm-up2／疑問詞／be動詞／一般動詞
第2クール (5/26~6/27)	
じぶみらビデオ	②L1 過去形／L2 進行形
じぶみらライブ	②私を清水寺に連れて行ってください！
じぶみらレポート	②過去形／進行形
第3クール (6/30~8/1)	
じぶみらビデオ	③L3 助動詞／L4 to不定詞 ④L5 動名詞／進行形
じぶみらライブ	③ニューヨークに行ってピザを食べてみたい！ ④あなたが電話をくれたとき私は寝ていました
じぶみらレポート	③助動詞／to不定詞 ④L5 動名詞／接続詞
第4クール (9/29~10/31)	
じぶみらビデオ	⑤L6 受け身
じぶみらライブ	⑤好きな本／歴史上の人物／アニメを紹介してみる
じぶみらレポート	⑤受け身／知覚動詞
第5クール (11/3~12/5)	
じぶみらビデオ	⑥L7 比較表現 ⑦L8 現在完了形
じぶみらライブ	⑥もし私が大谷翔平なら ⑦京都駅から京セラ美術館に行きたい！
じぶみらレポート	⑥比較表現／仮定法過去 ⑦現在完了形
第6クール (12/8~1/16)	
じぶみらビデオ	⑧L9 名詞を後ろから説明する分詞 ⑨L10 関係代名詞
じぶみらライブ	⑧ラブレターを書いてみる ⑨英語を通して世界を見てみる！
じぶみらレポート	⑧名詞を後ろから説明する分詞 ⑨関係代名詞

○スクーリング	
前期	まずは英語を使ってみる！
後期	英語を通して世界に关心を寄せる！
○テスト	
前期(9/8~9/10)	教科書p. 14~59 レポート出題範囲を中心に出題します
後期(1/26~1/29)	教科書p. 60~138 レポート出題範囲を中心に出題します

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
各単元の基本的な内容をレポートに沿って進めます。1セット（4本）を視聴するとレポート1枚分の内容を網羅できるようになっています。第3～5クールの内容は少しボリュームが多めになっているので、ほかのメディアと併せて視聴し、理解を深めるのもおすすめです。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
関連するトピックを取り上げ、参加している皆さんでコミュニケーションをとりながら進めていきます。英語に自信がない人でも不安なく参加できるような内容にしていきますので、安心して参加してくださいね。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
参加している皆さんでコミュニケーションをとりながら進めていきます。英語力の向上というよりは、英語を使ってコミュニケーションをとる機会・英語を学びたくなる時間になるといいと思っています。英語に自信がない人でも不安なく参加できるような内容にしていきますので、安心して参加してくださいね。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
英語は積み重ねが重要な科目なので、基礎の定着が学習のキーとなります。また同じ内容でも、教材が変わると理解が深まることもあります。まずはいろいろな学習サポートメディアを視聴してみて、自分に合った教材を見つけたり、複数のメディアを同時に視聴したりと、自分に合った学習方法を探ってみるのもおすすめです。	
⑤じぶみらレポート	(前期4回、後期5回提出します。)
オリジナル授業に対応しています。さらに深く理解を深めたい人はその他の学習サポートメディアも参考にして、理解を深めていきましょう。前期4回、後期5回提出します。内容は70点分は教科書の内容理解や文法問題、30点分は自分で考えて記述する問題です。	
⑥テスト	(前期1回、後期1回。合格点は30点以上です。)
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートから80%、基本的な内容の応用を20%出題します。 ・必ず受験し、合格してください。 	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	普通科目	情報 I	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	野中 孝利		最低視聴時間	5.1時間		
教科書	新編情報 I		副教材	情報 I 資料ノート		

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

情報 I では、現代社会で不可欠な情報技術の基礎を学びます。コンピュータの仕組みやプログラミング、データの扱い方、ネットワークの基本など、実際に役立つ知識と技術が身に付きます。情報 I を学ぶことで、IT分野はもちろん、ビジネスや科学、芸術など、さまざまな分野で活躍するための基盤を築くことができます。

また、情報技術は日常生活にも密接に関わっており、学ぶことで生活がより便利で豊かになります。これから社会を生き抜く力を身につけるために、一緒に情報の世界を探求し、楽しみながら学びましょう。未知の世界を発見する喜びと、自分の成長を感じる充実感を味わってください。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)	
じぶみらビデオ	① 第1章 情報で問題を解決する
じぶみらライブ	① 作ろうマイルール (Life is Techの使い方もしたいです。)
じぶみらレポート	① 第1章 情報で問題を解決する
第2クール (5/26~6/27)	
じぶみらビデオ	② 第2章 情報を伝える
じぶみらライブ	② ピクトグラム
じぶみらレポート	② 第2章 情報を伝える
第3クール (6/30~8/1)	
じぶみらビデオ	なし
じぶみらライブ	なし
じぶみらレポート	なし
第4クール (9/29~10/31)	
じぶみらビデオ	③ 第3章 コンピュータを活用する
じぶみらライブ	③ プログラムで動きを再現
じぶみらレポート	③ 第3章 コンピュータを活用する
第5クール (11/3~12/5)	
じぶみらビデオ	④ 第4章 データを活用する
じぶみらライブ	④ シミュレーションを体験しよう
じぶみらレポート	④ 第4章 データを活用する
第6クール (12/8~1/16)	
じぶみらビデオ	なし
じぶみらライブ	なし
じぶみらレポート	なし

○スクーリング	
前期	① アイデアの大量発生
後期	② プログラムで動きを再現 ③ データの分析
○テスト	
前期(9/8~9/10)	なし
後期(1/26~1/29)	第1章~第4章までの範囲（4回のレポートの範囲）

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> 各単元の基本的な考え方について、大事なところをピックアップして具体例を出しながら、やさしくわかりやすく説明します。教科書で調べながら、副教材「資料ノート」で復習すれば十分な理解を深められます。NHK高校講座、東京書籍インターネット講座も自分の好みやペースに応じて視聴してみてください。 	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎の復習に加えて、教科書第5章にある実習を楽しく進めていきたいと思います。各単元の学習をある程度理解したうえで参加するのが望ましいですが、視聴していなくても参加できるような内容にしていきますので、ぜひみなさんで楽しく学びましょう。 	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
<ul style="list-style-type: none"> ライブ授業同様、トピックを取り上げ、情報の楽しさが伝えられるような授業をお届けします。さらに、せっかくの対面なので、みんなで話し合い考えることのよさを味わうような内容にしていきます。楽しみにしていてくださいね。 	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
<ul style="list-style-type: none"> 情報科の授業では、オリジナル授業を視聴すれば大まかに理解できる構成となっています。その中で気に入ったテーマがあれば、NHK高校講座で具体的な話題についてより理解を深められるでしょう。また、東京書籍インターネット講座では、教科書を丁寧に解説しています。自分の学びに応じて選択してください。 	
⑤じぶみらレポート	(前期2回、後期2回提出します。)
<ul style="list-style-type: none"> レポートは、教科書の内容から70点分は知識・技能に関する問題を出題します。教科書の中に用語や考え方があるので、よく調べて回答してください。残り30点分は、思考・判断に関する記述問題を出題します。調べたことをもとにして自分の考えを詳しくわかりやすく記述してください。 	
⑥テスト	(後期1回のみ実施します。)
<ul style="list-style-type: none"> レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストが実施されます。 知識・技能を問う問題が70点、文章題など思考力・判断力を問う問題が30点の配分で出題されます。これまでの勉強の成果を十分に發揮して、合格できるようにがんばりましょう。 	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	総合科目	総合的な探究の時間Ⅰ	単位数	1単位	区分	必修科目
教科担当者	馬場 千恵子、各担任		最低視聴時間			
教科書			副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

みなさんが10年後、その先も社会にいきいきと参画できるように、発見した課題の解決方法を周囲と協働して創造していく姿勢を身に付けること、そのステップのひとつとして、卒業時には「社会を変えられるかもしれない」実感を持てることを目指します。

1年次ではまず、クラスメイトや教員と共に考え、学ぶ中で、じぶんが物事とどう出会い、どう捉えているか、など心の動きを知るところから始めています。みなさんがじぶんと、じぶんのまわりの世界のことをじっくり考える時間になればと思っています。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

- ・ 身近な社会課題を発見する為に自己理解・他者理解を深める。
- ・ 他者とともに考える協働学習を行う。
- ・ 他者と自分の考えを融合させ、社会をより良くする方法を探る。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)	
じぶみらビデオ	【課題発見の準備】じぶんを客観的に観察してみる
じぶみらライブ	じぶんを色づけしてみる
じぶみらレポート	他者を通してじぶんを観察してみる
第2クール (5/26~6/27)	
じぶみらビデオ	
じぶみらライブ	
じぶみらレポート	
第3クール (6/30~8/1)	
じぶみらビデオ	
じぶみらライブ	
じぶみらレポート	
第4クール (9/29~10/31)	
じぶみらビデオ	【課題発見】他者に触れてみる
じぶみらライブ	他者と比べてみる
じぶみらレポート	他者の課題を個人で解決してみる
第5クール (11/3~12/5)	
じぶみらビデオ	
じぶみらライブ	
じぶみらレポート	
第6クール (12/8~1/16)	
じぶみらビデオ	
じぶみらライブ	
じぶみらレポート	

○スクーリング	
前期	【課題発見の準備】じぶんを形づくってみる
後期	【課題発見】他者の課題を協働して解決してみる
○テスト	
前期(9/8~9/10)	なし
後期(1/26~1/29)	じぶんのめがねからじぶんをみてみる

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
探究学習を進めるにあたり、参考となる物事の捉え方・考え方や、探究学習のプロセスについて、みんなのヒントになるような授業を用意しています。	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
オンライン上でクラスメイトと協働して学ぶ機会です。じぶんと他者の同じところ、違うところを探ります。	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
クラスメイトと対面で協働して学ぶ機会です。身近なテーマにじっくりと取り組みましょう。コミュニケーションをとる場、そして他者を通してじぶんを知る場になるはずです。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
NHK高校講座には考え方の参考となる講座が用意されています。 (教科書インターネット講座はありません。)	
⑤じぶみらレポート	(前期1回、後期1回提出します。)
テーマを通して、客観的に観察したじぶんや、他者を通して知ったじぶんを表現してみましょう。	
⑥テスト	(後期1回実施します。)
1年間の学びをじぶんなりに振り返り、表現してみましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。 ①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	学校設定科目	創造基礎 I	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	巽 紫文・香西 里紗		最低視聴時間	-		
教科書			副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

創造科目は、課題解決に必要な思考方法を習得することを目的に作られた科目です。大学の名物授業である「マンディプロジェクト」を実施しているアーティストやデザイナーの先生方といっしょに、高校生の皆さん向けにアレンジして作りました。

ここで学ぶ思考方法は「デザイン思考」とも呼ばれるのですが、これはデザイナーなど一部の方々が行っている特殊な能力ではありません。「技術」を身に着けるというよりも「考え方」の方に重きを置いてるので、上手・下手は関係ありませんし、頭だけでなく体も心も使って、創造的なものの見方や考え方を身に着けていくことができます。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

この授業は、「デザイン思考というのはこんな方法です」と型や公式を示してその通りにできるように「教える」のではなく、生徒の皆さんのが自分なりのデザイン思考に気づくことを大切にしています。

実際の授業では動画を見てもらったり、スクーリングで一緒にワークショップに取り組みながら、観察したり、調べたり、考えたり、表現したりするなかで、課題解決の力＝「どうやったらみんなが幸せになるかを想像して、形や仕組みに落として解決していくこうとする考え方」を身につけていくことができますので、楽しみにしていてください。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)

じぶみらビデオ	タイムトライアル
---------	----------

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	タイムトライアル
----------	----------

第2クール (5/26~6/27)

じぶみらビデオ	
---------	--

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	
----------	--

第3クール (6/30~8/1)

じぶみらビデオ	I am ボールペン
---------	------------

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	I am ボールペン
----------	------------

第4クール (9/29~10/31)

じぶみらビデオ	
---------	--

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	
----------	--

第5クール (11/3~12/5)

じぶみらビデオ	
---------	--

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	
----------	--

第6クール (12/8~1/16)

じぶみらビデオ	
---------	--

じぶみらライブ	
---------	--

じぶみらレポート	
----------	--

○スクーリング	
前期	カテゴライズ
後期	
○テスト	
前期(9/8~9/10)	ワークショップ振り返り
後期(1/26~1/29)	0

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
大学の先生方といっしょに作成したオリジナルビデオは、皆さんが自分なりのデザイン思考に気づいてもらえるように構成しています。家で制作することを前提とした内容になっていますので、ライブのように時間を確保して取り組んでみてください。レポートと連動した内容になっていますので、メモを取りながら見ましょう。ぜひ楽しんでください！	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
なし	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
大学の先生から直接授業を受けることができて（補講を除く）「体感する」というワークショップの楽しさを思い切り感じられる機会になっています。わからない、もやもやする、という感情をネガティブなものとは捉えませんので、ゆっくり迷って、ゆっくりと自分に向き合う時間にしましょう。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
なし	
⑤じぶみらレポート	(前期1回提出します。)
じぶみらビデオの内容と連動していますので、取り組み方がわからない場合はじぶみらビデオを見直しましょう。評価ポイントを表で示していますので、その内容を確認してから取り組んでみてください。制作と同じくらい「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。「どのように工夫したか」などの問い合わせにも丁寧に答えるようにしてください。	
⑥テスト	(前期1回します。)
レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストを作成しています。レポートと同様「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。これまでの学習の成果を十分に発揮して、合格できるようにがんばりましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。

科目	学校設定科目	創造基礎Ⅱ	単位数	2単位	区分	必修科目
教科担当者	巽 紫文・香西 里紗		最低視聴時間	-		
教科書			副教材			

○教科担当者からのメッセージ（履修に当たって）

創造科目は、課題解決に必要な思考方法を習得することを目的に作られた科目です。大学の名物授業である「マンディプロジェクト」を実施しているアーティストやデザイナーの先生方といっしょに、高校生の皆さん向けにアレンジして作りました。

ここで学ぶ思考方法は「デザイン思考」とも呼ばれるのですが、これはデザイナーなど一部の方々が行っている特殊な能力ではありません。「技術」を身に着けるというよりも「考え方」の方に重きを置いてるので、上手・下手は関係ありませんし、頭だけでなく体も心も使って、創造的なものの見方や考え方を身に着けていくことができます。

○授業を通して目指すこと（教科のねらい）

この授業は、「デザイン思考というのはこんな方法です」と型や公式を示してその通りにできるように「教える」のではなく、生徒の皆さんのが自分なりのデザイン思考に気づくことを大切にしています。

実際の授業では動画を見てもらったり、スクーリングで一緒にワークショップに取り組みながら、観察したり、調べたり、考えたり、表現したりするなかで、課題解決の力＝「どうやったらみんなが幸せになるかを想像して、形や仕組みに落として解決していくこうとする考え方」を身につけていくことができますので、楽しみにしていてください。

○学習計画

第1クール (4/14~5/23)

じぶみらビデオ

じぶみらライブ

じぶみらレポート

第2クール (5/26~6/27)

じぶみらビデオ

じぶみらライブ

じぶみらレポート

第3クール (6/30~8/1)

じぶみらビデオ

じぶみらライブ

じぶみらレポート

第4クール (9/29~10/31)

じぶみらビデオ 新しいラジオ体操

じぶみらライブ

じぶみらレポート 新しいラジオ体操

第5クール (11/3~12/5)

じぶみらビデオ

じぶみらライブ

じぶみらレポート

第6クール (12/8~1/16)

じぶみらビデオ わたしのスープ

じぶみらライブ

じぶみらレポート わたしのスープ

○スクーリング	
前期	
後期	暗闇
○テスト	
前期(9/8~9/10)	
後期(1/26~1/29)	ワークショップ振り返り

○学びのコンテンツ	
①じぶみらビデオ	(1セット4本で50分です。)
大学の先生方といっしょに作成したオリジナルビデオは、皆さんが自分なりのデザイン思考に気づいてもらえるように構成しています。家で制作することを前提とした内容になっていますので、ライブのように時間を確保して取り組んでみてください。レポートと連動した内容になっていますので、メモを取りながら見ましょう。ぜひ楽しんでください！	
②じぶみらライブ	(1時間の授業は50分です。)
なし	
③スクーリング	(1時間の授業は50分です。)
大学の先生から直接授業を受けることができて（補講を除く）「体感する」というワークショップの楽しさを思い切り感じられる機会になっています。わからない、もやもやする、という感情をネガティブなものとは捉えませんので、ゆっくり迷って、ゆっくりと自分に向き合う時間にしましょう。	
④NHK高校講座、教科書インターネット講座の活用	
なし	
⑤じぶみらレポート	(後期1回提出します。)
じぶみらビデオの内容と連動していますので、取り組み方がわからない場合はじぶみらビデオを見直しましょう。評価ポイントを表で示していますので、その内容を確認してから取り組んでみてください。制作と同じくらい「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。「どのように工夫したか」などの問い合わせにも丁寧に答えるようにしてください。	
⑥テスト	(後期1回実施します。)
レポートで取り組んだ問題をもとに、単位認定テストを作成しています。レポートと同様「言葉」で表現の意図（コンセプト）を説明することも重視しています。これまでの学習の成果を十分に発揮して、合格できるようにがんばりましょう。	
○単位認定	
【視聴報告】	減免に必要な最低視聴時間数（上記）の視聴報告を提出すること。
【集中スクーリング】	すべて参加すること。
【じぶみらレポート】	すべて提出し、合格すること。（ 合格点は40点以上 ）
【テスト】	受験し、合格すること。（ 合格点は30点以上 ）
○成績評価	
全ての学習を総合的に評価します。	
①じぶみらビデオ ②じぶみらライブ ③集中スクーリング ④NHK高校講座 ⑤教科書授業 ⑥レポート得点・計画的取組 ⑦テスト得点	
○観点別評価	
知識・技能	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
思考・判断・表現	じぶみらレポート、単位認定テストの得点より評価する。
主体的に学習に取り組む態度	じぶみらレポートの計画的取組・じぶみらビデオ等、メディア授業の合計視聴時間・視聴報告の内容・スクーリング授業内の成果物により評価する。